

秋冬 ブロッコリー栽培情報

8月に入り、秋冬野菜の栽培時期となりました。すでに種まきを終えた方もいるかと思います。まだ圃場が空いている、何を植えるか迷っているという方、ブロッコリーを植えてみてはいかがでしょうか？

2026年から国の指定野菜(消費量が多い、または多くなることが見込まれる野菜)に入ることが決まりました。ビタミンや食物繊維を多く含み、栄養価が高いと注目を浴びている野菜です。8月下旬まで定植できるので、品種によっては雪が降るまでに収穫できます。適期作業をすれば、おいしいブロッコリーが収穫できるので、ぜひチャレンジしてみてください。

1. ブロッコリー栽培暦

8月			9月			10月			11月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

播種

植付け

追肥・防除

収穫

圃場準備

【品種選びのポイント】

- 品種によって収穫までに必要な日数が異なる
- 定植から60日前後で収穫できる早生種がおすすめ

2. ブロッコリー栽培のポイント

【圃場準備】

深くおこして、土を細かくしましょう。土が乾いている状態で耕したり、湿りすぎている状態で耕すと、土が固くなります。ふかふかの土にすることで、ブロッコリーの活着が良くなり、根が肥料を吸いやすくなります。

- ブロッコリー栽培では排水対策が重要です。畝の両側に溝を掘りましょう。(溝は圃場の端まで掘る)雨が降った後に圃場を見て、水が圃場の外に流れているか確認しましょう。
- 堆肥は定植の2週間前、施肥は定植の1週間前に行いましょう。

肥料の目安

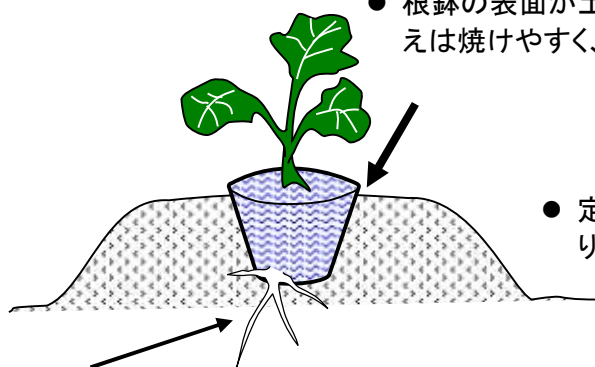
(g/m²)

肥料名	元肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2,000		
マグアース	120		
ようりん	40		
あさひ	80		
そさい5号	40	40	40

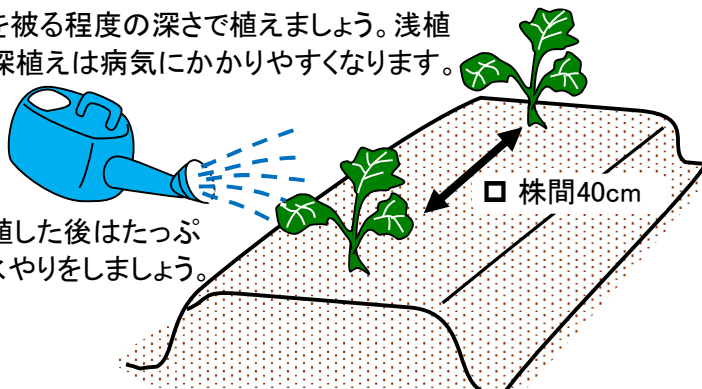
【植付け】

定植は気温が低い日や曇りの日に行いましょう。ブロッコリー苗と圃場の土がよく馴染むように、株の周りに優しく水やりをしてください。定植後2～3日間(活着するまで)は株の周りに水やりをしましょう。

- 根鉢の表面が土を被る程度の深さで植えましょう。浅植えは焼けやすく、深植えは病気にかかりやすくなります。



- 白い根が張っていて、徒長していない健康な苗を使用しましょう。



- 定植した後はたっぷり水やりをしましょう。

- 害虫が心配な方は、防虫ネットを被せましょう。熱がこもってブロッコリーが萎れたり、焼けたりしないように注意してください。